

卒業生による 講演会

中一対象

平成二十九年十二月十五日(金)

(株)テリミソーソリューションズ
代表取締役社長

山本光平氏 (七期生)

今回の講演のキーワードは「Serendipity」です。意味は「素敵な偶然に出会ったり、予想外のものを発見すること」です。

山本さんは今では美容室の経営をされていますが、それまでに様々な困難に直面してきました。

新卒でヤマハに入社し、船を売る仕事をされていた時、初めは全く売れなかつたそうです。しかし顧客のニーズを分析し、共有することで売り上げトップの社員になり、表彰を受けました。その後、家業の美容室の経営を任された時も、初めは何もわからない状況だったにもかかわらず、データを管理することで売り上げを伸ばすことができました。それらの成功の秘訣がSerendipityでした。

Serendipityを引き寄せるポイントは、失敗してもそれを活かして決してあきらめないこと、満足しないこと、皆にも幸せを、の三点です。生徒にはそういう心を持て、これからの学生生活を過(こ)して欲しいと思います。

(土居浩)

中三対象

平成三十年二月八日(木)

原島マネジメント研究所代表

原島敏郎氏 (七期生)

「働く」「職業」を考えるきっかけとする、を目的として講演をしていた



「例えば旅行に関係する仕事はどんな仕事があるか」「何の為に働くのか」などの問いを通じて世の中にはどんな仕事があるか、また自分らしく働くにはどうしたらよいのか語りかけてくださいました。また、「ハピキヤリキット」というカード教材を用いて、自分の就きたい仕事を取捨選択し、自分の傾向を分析する作業を行いました。講演後の質問タイムでは「高校3年生になっても就きたい仕事がない場合はどうすればよいか」「保護者が就いて欲しい仕事と自分が就きたい仕事と異なる場合はどうすればよいかなど多くの質問をしておりました。以下、生徒の感想の抜粋です。「自分がなりたいものになるためには日々の生活から得る経験が大事だと分かりました。」「カードの中にはあまりよく知らないけれど少し興味のある仕事もあったので、調べてみます。」

生徒にとって有意義な講演となりました。
(吉村)



高一対象

平成二十九年六月二十三日(金)

国連世界食糧計画(WFP)スタン事務所

松元正寛氏 (二十七期生)

「国際機関で働く」というスケールの大きなテーマについて軽妙な語り口で語ってくださいました松元さんの講演は、「コンプレックスが特技に変わる」「十



年計画を立てる」などのアドバイスや、どつと笑える高校時代のエピソードもあつたりで、あという間に一時間が過ぎ去りました。数週間後にはまたスーダンに戻れるとのことですが、生徒からの感想には全て手紙を書いて下さるそうです。文理選択を目前にした生徒達にとって、それを超越した先輩の声は、大きな励みになったのではないのでしょうか。
(佐々木)



高一対象

平成二十九年六月十七日(土)



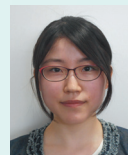
高校一年生を対象とする進路講演会が開かれた。講演者は、京都大学法学部一回生の今西えりかさんと大阪大学工学部一回生の村田知駿さん。そして大阪大学医学部の四回生の岡野侑紀子さんの三名。

今西さんは、何事にも積極的に参加していくこと、今日の前にあることを一つ一つこなしていくことなどを、村田さんは、高い目標を持って一年間の計画を無理のない形で作っていくことの大切さなどを、岡野さんは、大学では多くの出会いがあること、失敗や

間違いに直面しても気持ちを切り替えて前に進もうとしてみることを、それぞれ自分が経験したことを交えつつ話された。

(山本)

講演者のことば



京都大・法 一回生
今西えりかさん
(50期)

在校生の皆さんには勉強はもちろん、部活や学校行事をはじめとする課外活動などに真摯に向き合い、取り組んでほしいです。それから得られる経験や知識、発見は自分の一部となり、受験を含めた色々な場面で活きてくるからです。今しかない環境の中で、家族や友人、先生方との関係を深めながら、自分とその将来について考え、成長していくて下さい。そして中学・高校生活を思い多きものにしてほしいと思います。



大阪大・工 一回生
村田 知駿さん
(50期)

高校に入ってからですが、もうそろそろ大学受験を視野に入れなければなりません。まだ三年ある!と思っている人もいるかと思いますが、その三年後は必ず、あつという間に来ます。受験について色々悩むこともあると思います。だからこそ、時間のある今から考えて行動することが大切です。受験の難しさ、辛さから得る物は将来役に立つはずですが、長くも短い三年間になると思いますが、頑張ってください。



大阪大・医 四回生
岡野 侑紀子さん
(47期)

大学での勉強は想像していたより大変で、苦勞すること、失敗すること、も沢山あります。以前は失敗自体に気を取られ、立ち直ることがなかなかできませんでした。今は失敗に向き合った上で、気持ちを切り替えることを心掛けています。できなかったことを振り返るのはとても勇気がいる作業ですが、転んでもタタでは起きない!という意気込みで、前に進んでいきたいなと思っています。金蘭魂と一緒に頑張りましょう!

中二校外学習

今年度は十一月七日に実施しました。テーマは「日本の伝統芸能に触れる」です。

午前中は天満天神繁昌亭での落語鑑賞です。本校十九期生の林家染雀さんのご尽力により、本校生貸切で行われました。当日は染雀さんによる「落語入門」「お囃子解説」からはじまり、後半は染雀さんと桂あやめさんの本格的な落語で大いに盛り上がりしました。

大阪城公園での昼食をはさみ、午後は大阪能楽会館へ移動し、狂言の鑑賞です。これも本校美術科講師で狂言師でもある安東陸郎先生のお力添えにより実現しました。実際に面をつけた状態で舞台を歩くなど、貴重な体験もできました。狂言についての解説や狂言歌謡「雪山」の手ほどきを受けた後、実際の狂言「萩大名」を楽しみました。

国際化が進む今日、日本の伝統を理解する意義は大きいと思います。充実した一日でした。
(山内)